



ひびき 南山田小学校だより

Letter of the M.Y. elementary school

～ ともだちいっぱい！ かがやく子 ～

学校通信 NO.285
令和元年度 12月号
令和元年 11月29日

～ One Team ! (一つの仲間) ～

校長 佐藤 康晴

今年も残すところあと僅か一か月となりました。月日が経つのは、本当に早いものだと、4月から今日まで、毎日登校して来る子どもたちの姿を振り返ってみて、切に感じています。

4月に、在校生の子どもたちがそれぞれ一つ進級し、そして緊張と期待に胸を膨らませた1年生を迎えてから、もう8か月が経ちました。この間に、楽しみにしていた新しい学年での学習、仲間と一緒に出かけた遠足や校外学習、宿泊体験学習、そして秋には皆が力を合わせ、心を一つにして運動会を成功させるなどの学習を通して、一つひとつの学びを自分自身の「生きる力」に変えてきたことと思います。

この間行われた音楽朝会で、3年生(有志)が区児童音楽会で発表するリコーダー演奏と合唱を発表してくれました。在校生全員が体育館に入り、いつもとは違う並び方もあって少しざわついていた中で、3年生の演奏が始まりました。

すると、今までの喧騒が嘘のように無くなり、少し緊張感をもった心地よい空気に包まれていきました。リコーダー演奏から合唱へと進み、私は、ふと体育館に集まっている他の子どもたちの様子が気になり目を向けました。するとどうでしょう、1年生から6年生まで全員が、皆、耳を澄ませ、真剣な眼差しで3年生を見つめていました。全身で、その歌声を聴き洩らすまいとする様に見えました。私は、そんな子どもたちの姿を見て、これが今の「南山田の子どもたち」なんだな、と心から感動しました。

発表が終わった後、「3年生上手かったね」「綺麗な歌声だったね」という言葉を幾つか耳にし、自分たちも頑張ろう！という思いを感じることができました。

日本中を、いや世界中を感動させたラグビーワールドカップでの珠玉の言葉に例えたら、子どもたち全員が、「南山田の子どもたち」として、一つの仲間になって(One Team)この体育館を埋め尽くし、発表する3年生は、仲間を信じ、一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために(One for all, All for one)一生懸命練習をし、発表を成功させようと取り組んできた姿を見ることができました。そして、「南山田の子どもたち」を温かい眼差しで包み育ててくださったのは、子どもたち一人ひとりの頑張りや努力はもとより、常日頃から、子どもたちの健康と安全を守ってきてくださった保護者の皆様並びにPTAの皆様、地域の皆様のご支援・ご協力があったからこそ、と思っています。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

これからも、保護者の皆様並びに地域の皆様と共に、「南山田の子どもたち」を育てていきたいと思っています。どうぞ、来年もまた保護者の皆様、地域の皆様のご理解並びにご支援・ご協力をいただけましたら幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

そして、子どもたち、保護者の皆様に、地域の皆様にとって、いい年の終わりとして、さらに輝ける新しい年の始まりになりますよう、切に願っております。